

何の変哲もないウエストシェイプのブラウスのパターンである(作図にはストレートの身ごろ原形を使用している)。

1. このパターンは正解か?

タイトルは「要点」といいますが、今回で実施されているパターンは、ブラウスのパターンの検定試験も、ブラウスの難しさです。スガが初級でジャケットが上級といった具合です。ブラウスというアイテムは、パターンのレベル的には初級として扱われているのが世間一般の認識です。例えば、服飾専門学校で習うのは、1年生がブラウスやスカート、2年生がブラウスやスカート、3年生がジャケットやコートというのが一般的です。また、企業でも新人パターンナーはブラウスやスカートから実践経験を積んでいくのが多

ンには明らかに構造上の問題がある。その問題点とは、「後ろに抜け易い」ことである。しかし、この教材書や参考書を見て、こちらが正しいパターンである(Aのパターン)が、よく見ると後ろアームホールが長くなり、パターンの形状が多少違っていて、バストライ

2. 正しいパターン

ンが水平ではなく後ろがやや高くなっている。

3. ABパターンの比較

AとBのパターンを重なるように引き直すと、Aのパターンは肩タツ量などの微妙な変化には対応していない。パターンは基本的に軽いうえに、ブラウスという軽いアイテムゆえに、底にある「ブラウス」という文字も、その位置に

6. Aのパターンを簡易的に修正する方法

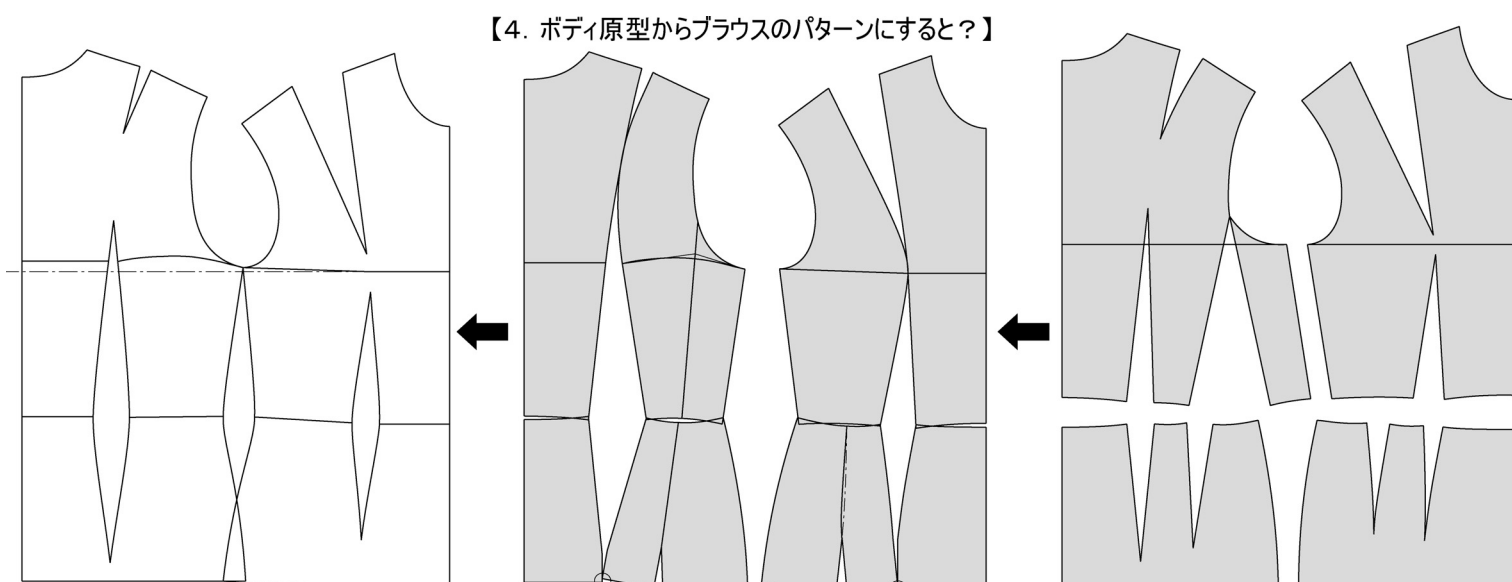
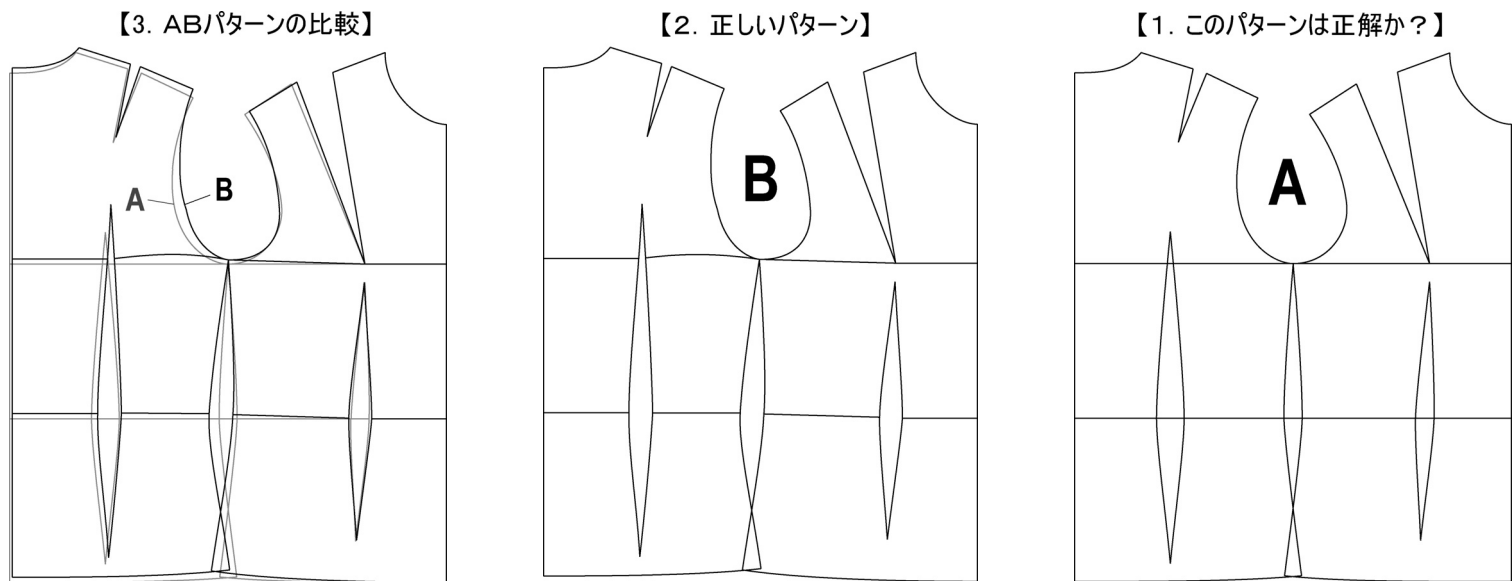
修正する方法を説明するが、おむね正解のパターンに近い形状になる。また延長し、アームホールとの接点を起点に前後のカマ幅線を幅を調整し、後ろは裾をたれエラストの絞りが無いように調整する。ウエストの絞りが無いように調整する。ウエストの絞りが無いように調整する。

No.038 実践! レディス・パターン教室

ブラウスのパターンの要点

菊地 正哲 (きくち まさのり)

ドレスメーカー学院特任教授
日本モデリスト協会運営委員
東京マイスター



5-1. 3Dシミュレーションで確認Aのパターン

5-2. 3Dシミュレーションで確認Bのパターン

5-3. 実際のトワルで確認

5-4. 実際のトワルで確認

後ろのアームホールの合体するとき裾を重ねず、形状は後ろ脇のタツを突き合わせる。2つともウエストを絞ったため、当然変化し、面体になったところを脇アームホールが長くなり、下の接点を並べると、ブラウスは2面体なバストラインは後ろが高くなる。プリンセス原形をくくる。

CREA COMPO II

Pattern Magic II 3D

PATTERN MAGIC®II 3D は、正確な立体化で衣服設計を支援する、3Dバーチャルフィッティングソフトです。

着装シミュレーションに株式会社キイヤ、株式会社七彩が提供する3Dデジタルボディを利用※できるようになりました。

※ご利用には、別途提供企業との契約が必要です。

資料: 「3DCGを業務に取り入れるためのヒント」

ダウンロードはこちら

株式会社キイヤ
提供サービス名: 3D Bodyform
Modelia Milieu 38

株式会社七彩
提供サービス名: VIRTUAL DRESS FORM
V-Fair Lady 9AN

東レACS株式会社 お問い合わせ 東京: ☎ 03-6327-7001 大阪: ☎ 06-6253-5900

CREACOMPO, PATTERN MAGIC, および図形は、東レ ACS 株式会社 (Toray Advanced Computer Solution, Inc.) の日本国内およびその他の国における登録商標または商標です。 Modelia は 株式会社キイヤの、Fair Lady は 株式会社七彩の、日本国内およびその他の国における登録商標または商標です。

https://www.toray-accs.co.jp/